



すぎなみ

教育報

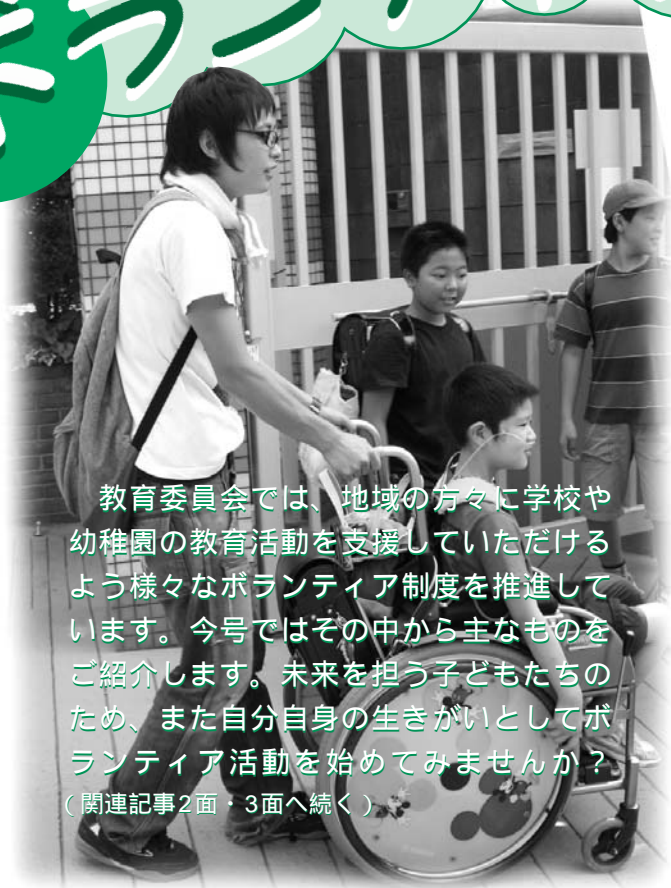
第182号
平成18年9月29日
発行 杉並区教育委員会
杉並区阿佐谷南1-15-1
☎3312-2111 FAX 5307-0692
教育委員会ホームページ
<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>
区公式ホームページ
<http://www.city.suginami.tokyo.jp/>

子どもたちの笑顔のために



ボランティア始めませんか？

介助 ボランティア



教育委員会では、地域の方々に学校や幼稚園の教育活動を支援していただけるよう様々なボランティア制度を推進しています。今号ではその中から主なものをご紹介します。未来を担う子どもたちのため、また自分自身の生きがいとしてボランティア活動を始めてみませんか？
(関連記事2面・3面へ続く)

主な活動内容

区立小・中学校の通常学級において、支援を必要とする児童・生徒の安全管理・介助(例:車椅子を使用している児童・生徒の車椅子介助。注意が逸れがちな児童・生徒の付き添いなど)。学校長や教員の指示により活動していただきます。

活動時間

8時30分から15時30分までのうち、1回につき、おおむね4時間以上。

資格・要件

資格は問いませんが、学校長・教員の指示により積極的に活動できる方

活動の手順

まず、学務課において登録が必要になります。登録された情報を学校に紹介します。学校から登録者に介助依頼の連絡が入り、予定が合えば活動していただきます。詳しくは担当までお問い合わせください。

担当 学務課特別支援教育担当

区立の幼稚園・小・中学校では、将来、教員を志す大学生等を対象としたボランティアを随時募集しています。

活動したい大学生の希望と受入校(園)の要望が一致した方から学校等を紹介いたします。

主な活動内容

担任の教員の補佐(幼稚園・小学校)、教科ごとの教員の補佐(中学校)、少人数対応やチームティーチング(小学校・中学校)など

受入校(園)の主な要望

- ・週に1回程度1日(8時30分から15時30分まで)活動が可能な方
- ・週に1回程度半日(8時30分から12時30分まで)活動が可能な方
- ・教育委員会、学校長の指示により、積極的に活動できる方

その他

土曜日や放課後の取組みを実施している小・中学校では、上記の時間以外に募集する場合がありますので、担当までお問い合わせください。

担当 社会教育スポーツ課学校支援係

学生 ボランティア



牛乳パックでコマづくり(高井戸西幼稚園)

ユニケーションを交わし、学校・地域の活動組織として、着実に定着しつつその輪を広げています。

各校では、未永く子どもたちの安全を確保し、一人でも子どもを見守る目を増やすためにボランティアを求めています。現在は保護者が中心となって活動している学校が主ですが、地域で子どもたちを見守っていくためにも、特に地域の方の参加をお待ちしています。

ご希望の方はお近くの区立小学校または担当へお問い合わせください。

担当 学務課学事係

子ども安全 ボランティア



子どもたちの登下校中などに、昨年末から各地で様々な事件が起り、今でも多くの方が不安感を抱いています。

そうした状況の中、杉並区では今年の3月に全区立小学校で子ども安全ボランティアを立ち上げました。今ではどこの区立小学校でも、子どもたちをあたたかく見守る目の輪が広がってきています。(18年7月1日現在 44校で8920名)

子ども安全ボランティアは、継続的に子どもたちを見守っていく目的で各校に立ち上げをお願いしました。当初は悲惨な事件の直後でもあり、子どもたちの見守りも必死でしたが、今ではボランティアどうしが自然にコミ

▶「東田 未来へのアプローチ」体力(からだりょく)向上をめざして~参加型パネルディスカッションを開催!
教育課題研究指定校として17年度から2年間取り組んできた成果や日常的な活動を発表し、参加型パネルディスカッションを開催します。今の子どもたちの体力の向上をどのように図るか? 興味関心のある方は、是非ご参加ください。
日時: 10月27日(金)午後1時10分~ 場所: 東田小学校(直接お越しください) パネリスト: 熊田康則(元バレーボールオリンピック代表選手)、秋山エリカ(東京女子体育大学助教授、元新体操オリンピック代表選手) コーディネーター: 畑攻(日本女子体育大学教授)

実例を紹介します！ 保護者による図書ボランティア ～久我山小学校～

久我山小では、本好きの子どもに育ってほしいという思いから、保護者による書架の整理が8年ほど前から行われるようになりました。平成15年からは図書の修理を行い、また図書室利用を促すため、毎月テーマを決めて図書の紹介を兼ねた展示を行うようになりました。その後、古い図書の廃棄やラベルの張り替えなどの活動も加わりました。

平成16年からは図書室のIT化を実施するため、30名のボランティアがバーコードシールの貼り付け、図書データの入力、利用者データの登録等を行いました。現在は、10名の保護者が交代で、授業や休み時間、放課後の貸出・返却や本の検索・案内、蔵書管理、利用者や図書のデータ登録等、図書室のほとんどの業務を行い、学校には、なくてはならない貴重な学習支援活動となっています。



文化財保護ボランティア やってみませんか？

文化財保護ボランティアは、杉並区に伝わってきた文化財を保護することを目的に平成17年度に発足しました。

文化財保護ボランティアは、教育委員会が行う文化財保護ボランティア養成講座の修了生で、同ボランティアとして活動する意思を持つ方々で組織されており、現在13名が登録しています。養成講座は隔年で行われ、11月から第2期の講座が開催されます。(募集の詳細は「広報すぎなみ10月11日号」をご覧ください。)

主な活動は、区内の文化財及び文化財案内標識の現状の確認、区民に対する文化財保護思想の普及活動、教育委員会の文化財調査や区の主催事業等の補助などです。17年度は区内3カ所の力石(ちからいし)が区の指定・登録文化財になったことをきっかけに、区内全域の力石の調査を行いました。

問合せ先 社会教育スポーツ課文化財係

食育公開講座

食育推進ボランティア育成講座5回シリーズの中の2回を区民の皆さんにも聴いていただけるよう公開講座としました。食育ってなんだろう？家庭でも食育できるの？こんな疑問を解決！ふるってご参加ください。当日先着順で受け付けます。

1回目《テーマ》「子どもの成長に合わせた食育」
講師 村上祥子氏(管理栄養士・料理研究家)
日時 10月18日(水)午前10時～11時30分
会場 杉並区役所 中棟6階 第4会議室

2回目《テーマ》「食育基本法・食育基本計画が目指すこと」
講師 幕内秀夫氏(管理栄養士・学校給食と子どもの健康を考える会代表)
日時 11月8日(水)午後1時30分～3時
会場 杉並保健所(荻窪5-20-1)地下1階 講堂

問合せ先 学務課保健給食係

杉並区図書館ネットワーク 講演会『奥多摩の山歩き—今と昔—』

日時 10月7日(土)午前10時～11時30分
会場 中央図書館(荻窪3-40-23)
内容 奥多摩の山歩きを中心に江戸時代の山旅について、元国立図書館専門資料部司書監・住谷雄幸(すみたにたけし)さんがお話します。
定員 50名(当日、直接会場へ)

展示会『住谷雄幸の山旅』同時開催
日時 9月25日(月)～10月7日(土) 午前9時～午後8時
(日曜日は午後5時まで・休館日除く)
内容 講師プロフィール・著書『江戸百名山図譜』ほか山の本の紹介

強力図

ぼくたち、私たちの夏

～またひとつ成長しました!!～

かけがえのない体験になりました！ 中学生海外派遣

教育委員会では、2年に1度、友好都市であるオーストラリア・ウィロビー市へ中学生を派遣し、ホームステイや体験入学などを通して国際理解・国際交流を深めています。

第10回目となる今年の派遣生30名は、5月21日の結団式以降、7回の事前学習会で英会話やオーストラリア、日本のことを学びながら、派遣団としての一体感を強めました。8月3日から12日にかけては、冬のオーストラリアでホームステイや学校生活を体験しました。

日本語の通じない環境で、ホストファミリーや友人に温かく迎え入れられたことは、今後国際社会で活躍することが期待される彼らにとって、日本の日々の生活を客観的に考え直すいい機会となるとともに、心に残る貴重な経験となりました。

9月10日には区立産業商工会館において学習報告会が行われ、この派遣を通して学んだことなどを発表し、4ヶ月ほどで心身ともに大きく成長した姿を、学校関係者をはじめ保護者の方などに披露することができました。



日フィルの人達と“音楽”を創りました

～杉並第三小学校・杉並第八小学校～



杉並第三小学校の合唱団と杉並第八小学校の音楽教室の子どもたちが、日本フィルハーモニーのプロの楽団員と一緒に、5月から7月まで1回ずつそれぞれの学校で音楽ワークショップを行いました。

この音楽ワークショップは、子どもたちが自ら体験しながら創造していくプログラムで、ストラヴィンスキーの「春の祭典」をテーマに子どもたちが自分たちの音楽を作っていました。

7月からはロンドンの教育プログラムの権威マイケル・スペンサーさんとクマ原田さんが加わり、ワークショップが行われました。子どもたちは、「楽器がなくても、こんなことができるんだ。」と感想を話していました。マイケル・スペンサーさんは、「子どもたちの素晴らしいところは、際限がない。大人になると、音楽を難しいと思うようになってしまう。」と話していました。

8月に杉並公会堂で行われた「エデュケーション・フェスティバルin杉並」の初日に最後のワークショップを行いました。最終日には、日本フィルハーモニーの楽団員と舞台上で再会し、マイケル・スペンサーさん、クマ原田さんと一緒に、フェスティバルに参加しました。



いろんな講座が目白押し!! 夏休みせいび・わいわいランド

～済美小学校～

夏休み中の済美小学校からは、子どもたちの元気な声がたくさん聞こえてきます。

16年度から済美小で実施している「夏休みせいび・わいわいランド」は、地域の方々や保護者、教員が講師を務める体験・学習講座です。今年も、26講座に延べ1,600名を超える子どもたちが参加しました。

8月23日のメニューは、手話、習字、学習、陸上、サッカーにソフトバレーと実に多彩です。手話講座では、聞こえない人の生活を学んだり、ジェスチャーゲームを体験。最後には手話で自己紹介ができるようになりました。またソフトバレーでは、地域の方が楽しいながらも熱血指導!危険なことをすると容赦ない注意が飛びます。試合を終えた子どもたちの顔には笑顔と汗が光っていました。

他の学年の友達や地域の方々と共に学ぶ「わいわいランド」は、子どもたちに心の成長をもたらしてくれることでしょう。



中央図書館に ガンディー展示コーナー がオープンしました



日印交流年を翌年に控え、中央図書館では、インドからガンディーに関する図書の寄贈を受けたことをきっかけに、「ガンディー展」を開設し、インドとの親善を深めていくこととしました。

展示コーナーでは、ガンディーに関する図書資料など約300冊、写真、パネル等が展示されています。是非一度ご覧ください。

なお、展示コーナーのオープンにあたり9月16日にインド大使館関係者などをお招きし、区長、教育長など区関係者の出席のもと、開設記念式典が催されました。



「意見を待ちしています」

「教育委員からの発信」をお読みになった方からの「意見を募集いたします。」ご意見は郵送、または区のホームページで受け付けます。

送付先 〒166 8570 杉並区阿佐谷南1-15-1
1 杉並区教育委員会事務局庶務課 「教育委員会への意見」あて
ホームページ <http://www.city.suginami.tkyo.jp/>
場所:「生活ガイド」「子供・教育」「教育委員会からの発信」

この夏もあちこちの学校で、夏祭りや盆踊り、そしてデイキャンプが開かれました。これらの催しは、町会・自治会、青少年育成委員会やおやじの会、PTAなどのお力によって開催されます。今より家族で楽しめる場所の少なかつた頃は、夏の大きなイベントとして、多くの子どもたちの(時としておとなたちにも)何よりの楽しみであったことでしょう。時を経て、今もそれらの催しが途切れることなく開かれているということは、子どもたちを大切に育てたい、楽しい思い出を作ったがたいと思ったださる地域の方々の温かいお気持ちにほかなりません。

最近では、ゲストティーチャーとして地域の方や卒業生に学校においていただき、自分たちの住む地域の昔の様子を教えてください、貴重な体験をお話いただくことも多いと聞いております。また子どもたちの放課後活動のお手伝いや、中学生の職場体験学習の場を提供していただくなど大きなご支援をいただいております。

杉並区では、「意欲と自信に支えられた信

「本年度の「教育委員会からの発信」では、昨年度に引き続き「杉並区のめざす教育」をテーマに五人の教育委員が紙面を通じて意見・情報等をみなさんに発信します。

「覗いてみませんか」

教育委員 安本ゆみ

「この夏もあちこちの学校で、夏祭りや盆踊り、そしてデイキャンプが開かれました。これらの催しは、町会・自治会、青少年育成委員会やおやじの会、PTAなどのお力によって開催されます。今より家族で楽しめる場所の少なかつた頃は、夏の大きなイベントとして、多くの子どもたちの(時としておとなたちにも)何よりの楽しみであったことでしょう。時を経て、今もそれらの催しが途切れることなく開かれているということは、子どもたちを大切に育てたい、楽しい思い出を作ったがたいと思ったださる地域の方々の温かいお気持ちにほかなりません。」

最近では、ゲストティーチャーとして地域の方や卒業生に学校においていただき、自分たちの住む地域の昔の様子を教えてください、貴重な体験をお話いただくことも多いと聞いております。また子どもたちの放課後活動のお手伝いや、中学生の職場体験学習の場を提供していただくなど大きなご支援をいただいております。

杉並区では、「意欲と自信に支えられた信

「本年度の「教育委員会からの発信」では、昨年度に引き続き「杉並区のめざす教育」をテーマに五人の教育委員が紙面を通じて意見・情報等をみなさんに発信します。」

「覗いてみませんか」

教育委員 安本ゆみ

「この夏もあちこちの学校で、夏祭りや盆踊り、そしてデイキャンプが開かれました。これらの催しは、町会・自治会、青少年育成委員会やおやじの会、PTAなどのお力によって開催されます。今より家族で楽しめる場所の少なかつた頃は、夏の大きなイベントとして、多くの子どもたちの(時としておとなたちにも)何よりの楽しみであったことでしょう。時を経て、今もそれらの催しが途切れることなく開かれているということは、子どもたちを大切に育てたい、楽しい思い出を作ったがたいと思ったださる地域の方々の温かいお気持ちにほかなりません。」

最近では、ゲストティーチャーとして地域の方や卒業生に学校においていただき、自分たちの住む地域の昔の様子を教えてください、貴重な体験をお話いただくことも多いと聞いております。また子どもたちの放課後活動のお手伝いや、中学生の職場体験学習の場を提供していただくなど大きなご支援をいただいております。

杉並区では、「意欲と自信に支えられた信

海外から帰国した友だちや外国人の友だちをつくろう!「国際交流の集い」を開催します
国際理解・帰国児童生徒教育センターでの学びの成果を知ってもらうために、「国際交流の集い」を開催。外国人児童生徒の日本語のスピーチ、帰国児童生徒の英語のスピーチ、プロ演奏者パンチャ・ラマによる民族楽器を使ったネパール音楽の演奏などを行います。みなさんのご来場をお待ちしています。(車での来場はご遠慮ください)
日時:10月28日(土)午前10時～正午 会場:杉並第四小学校体育館 問合せ先:同センター ☎5373-0809

平成17年度学校評価結果の概要をホームページに掲載します
平成17年度に区立幼稚園、小・中学校、養護学校において実施した「学校評価」の結果を、11月から教育委員会のホームページに掲載します。学校経営や授業力(指導力)、地域との連携などについて、生徒、保護者、教員が評価を行っています。 問合せ先:済美教育センター ☎3311-2235

区役所いつでも電話サービス #8800

がんばれ！中学生レスキュー隊

9月3日に、全区立小中学校で地域の方々を中心とした杉並区総合震災訓練が実施されました。その訓練に中学生レスキュー隊も参加し、今までレスキュー隊の訓練で身に付けてきた知識や技能を生かし、地域の方々とともに積極的に救援訓練に取り組みました。

訓練では、区民に仮設トイレの設営・利用方法など、防災用品の説明や炊き出しをしたり、地域に出かけ、怪我人を探して担架で運んだり、震災救援所を支える大きな役割を果たしていました。参加したお年寄りからも、「大きな地震がきたら、と思うと不安になったので訓練に参加したが、こんな頼もしい中学生がいて心強い」と評判でした。また、レスキュー隊の中学生も「合同訓練で練習したことが今度の訓練でも役に立った」「訓練でいろいろなことが体験できて面白かった」と、貴重な訓練体験を振り返っていました。



マンホールトイレについて、区民にわかりやすく説明しています。(井草中学校)

中学生レスキュー隊は、防災の心構えを身に付けることを通して、防

災意識、社会貢献意識、自己有用感を高めることが目的です。昨年度、6校122名で発足しました。今年度は、新たに4校が加わり、7月8日に、10校183名で第2期の発足式を行いました。

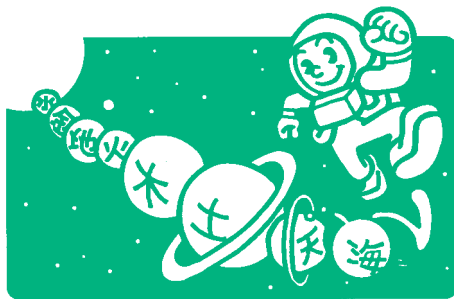
中学生は地域で生活し、地域のことをよく知っている上に、救援活動のための正しい知識や技能を身に付けることで、積極的に救援活動にかかわることができる人材となります。この試みは全国でも珍しく、中学生レスキュー隊の活躍に、区民の方々からも大きな期待が寄せられています。

これから、さらに災害時に役立つ知識や技能を身に付けるために、救命救急技術などの実習や講義を受けます。これらのことを通して心身を鍛えとともに、自分は社会の一員としての誇りを持ち、社会とどうかわかっていくか、貢献していくかを考える良い機会としてほしいと願っています。



訓練に参加した区民の方々に、非常食(山菜おこわ)を提供しました。食べた方からは「結構おいしい」との感想をいただきました。(井草中学校)

区民にとって魅力的な科学館を目指して



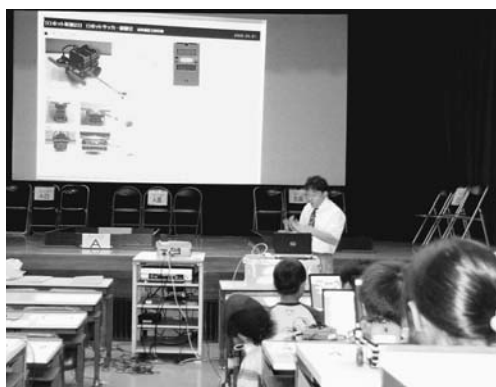
科学館の目指す方向性

平成14年4月、科学教育センターは名称を科学館に変更し、同時期に設置された「区民の科学学習を考える懇談会」からは、「学校教育支援も行いながら、区民の生涯学習の要望に答えていく」という指針が出されています。これまで主に学校の理科教室を補う役割を果たしてきた科学館の役割を見直し、科学の最先端知識や技術を子供達が『わくわくドキドキ』面白く体験できる施設に転換していく必要があります。その方向性を具体的に推進するため、今年度「科学館基本構想策定懇談会」を設置しました。懇談会のスケジュールは、6月に第1回、以後毎月1回会議を開き、10月には中間提案を、19年3月に最終提案を提出することを目指しています。メンバーは科学に関して活動する区民ボランティア、学識経験者、民間企業の研究者、科学学習に関する公的機関に所属する方、区立学校教員など12名で構成され、活発な議論が行われています。

現行事業の充実

現在でも学校教育支援事業である理科移動教室が当館事業のかなりの部分を占めていますが、少しずつ、各事業の内容を変えつつあります。

「ロボット杉並21」は2001年に始まった小中学生対象の事業で、年4回のロボット教室とその後のコンテストで構成されています。この教室もできるだけ参加しやすいように夏休み中に2回実施し、学期中の教室は土曜3回にしました。また、中級コースとしてロボットサッカーを増やし、夏休みのサイエンスウィークにはロボットサッカー体験会を実施しました(写真)。コンテストでは、今年度からロボカップジュニアのレスキュー部門に準拠したコンテストも実施する予定で、同コンテストの優秀なチームが大きな大会に出やすくなるようにしていきます。



区民向けの区民科学講座では、耐震偽装問題というニュースにあわせて、構造分野の大学の先生を招いて2日間の講座を開催しました。

学校教育支援事業については、今年度は「アシモ授業」を実施する予定です。これは日本科学未来館と本田技研工業が文部科学省の補助を受けて実施している事業で、最先端の科学技術の成果、自立型二足歩行ロボット、アシモの実物に接してもらおうというものです。

これからもますます区民にとって魅力的な科学館を目指していきます。

平成19年度杉並師範館入塾生募集のお知らせ

杉並師範館では、地域に密着し、高い志と熱意を持った小学校教師を養成すべく、第二期生を募集中です(10月17日応募締め切り)。

詳しくは、杉並師範館事務局 ☎3311-2900までお問い合わせいただくか、杉並師範館公式サイト(<http://shihankan.jp>)をご覧ください。

教育委員会の動き 18年6月～18年8月

【教育委員会開催状況】

定例会	5回
臨時会	1回
議案	6件
報告事項	21件

【主な案件】

- は審議、は報告事項
- 「杉並区立小中学校第一次適正配置計画策定のためのたたき台(学校の統合)」の一部改正について
- 「平成17年度児童・生徒の学力向上を図るための調査(東京都教育委員会)」の結果について
- 平成18年度学校希望制度の実施について
- 杉並区立科学館基本構想策定懇談会の設置について
- 平成17年度区学力調査、意識・実態調査結果について
- インドとの図書交流の実施について
- プールの緊急点検について
- 杉並区立浜田山小学校適正配置(通学区域の変更)検討協議会の設置について
- 教職員組合事務所等について
- 平成19年度地域図書館の運営方針等について

0ペソ知る 環境博覧会2006で子どもたちのメッセージ、感じてください!

環境博覧会2006において「キッズISO活動報告会&環境カレンダー絵画コンクール表彰式」を開催します。子どもたちの家庭での省エネ作戦の発表、環境に関する絵画を是非ご覧ください。
日時: 10月14日(土) 午前10時30分～正午 場所: 高井戸地域区民センター

歩きながら、
元気と文化が
生まれる街。

100
古紙配合率100%再生紙を使用しています。